

平成25年度

特定非営利活動法人 **子どもの森**

総 会 議 案 書



日 時：平成25年5月6日（月）9時30分～

場 所：森<sup>もり</sup>の学舎<sup>まなびや</sup>

# 総 会 次 第

1. 開会のことば
  2. 議長選出
  3. 議事録署名人任命
  4. 資格審査報告
  5. 報告事項
    - I. 平成24年度活動経過報告について
    - II. 、、 収支決算報告について
    - III. 監査報告
  6. 議案
    - I. 平成25年度活動方針（案）について
    - II. 、、 活動計画書（案）について
    - III. 役員改正（案）
  7. 議長降壇
  8. 閉会のことば
- お楽しみ会（11：30～）

総 会	日 時	場 所
設立総会	平成15年7月12日（土）13:00	子どもの森事務所
第2回通常総会	平成16年4月15日（木）10:30	子どもの森事務所
臨時総会（第3回）	平成16年11月19日（金）19:30	クリエイティブセンター門川
第4回通常総会	平成17年5月8日（日）10:00	門川町商工コミュニティセンター APIO
第5回通常総会	平成18年4月22日（土）18:00	門川町中央公民館
第6回通常総会	平成19年5月20日（日）16:00	ガーデンベルズ延岡エメラルドの間
第7回通常総会	平成20年5月17日（土）10:00	（仮称）森の学舎（旧西門川小学校松瀬分校）
第8回通常総会	平成21年4月25日（土）10:00	森の学舎
第9回通常総会	平成22年4月25日（日）10:00	森の学舎
臨時総会（第10回）	平成22年10月13日（水）19:30	クリエイティブセンター門川
第11回通常総会	平成23年4月24日（日）9:30	森の学舎
第12回通常総会	平成24年4月22日（日）9:30	森の学舎

## はじめに

現在の自然は、私たちが知ることができない遠い祖先から大事に守られてきました。私たちは、その豊かな自然の中で暮らすことができています。でも今は、人間の生活を豊かにするため便利にするための代償として豊かな自然を破壊することが多く行われてい5  
5 ます。自然にとっては、今は寒く厳しい時代なのかもしれません。そんな時であるからこそ、私たちは、自然を大切に、必要によっては自然を修復しながら、私たちだけのためではなく、私たちの子孫のために今できることをしなければなりません。

今、多くの種の絶滅が、かつてないスピードで進んでいます。地球の歴史の中で6  
10 度目の大量絶滅の危機とも言われています。過去の種の大量絶滅は、地球環境が大きく変わり新たな種が生まれる節目でもありました。現在の大量絶滅は、人間が自然を壊すことによって、生物の居所が無くなり生態系が壊れた結果なのかもしれません。この多くの種のいのちをみんなでつないでいこうという思いも込めて自然環境を大切にしていかななくてはなりません。

15 これまでの子どもの森の活動を通して、それぞれの団体単独では、その想いを形にすることの難しさを感じていました。一方、企業や他の団体と協働し活動した時には、容易に形になっていく実感がありました。同じ思いを持つもの同士が一緒になって活動や事業を進めて行くことが、地域の問題解決にとって有効な手段となります。

20 過疎化が進む中山間地域は、人口は少ないけれど、その面積は国土の大部分を占めており、厳しい条件の中にあっても、森を守り、水を守り、田畑を守り、日本の文化を守り、心のよりどころとなる美しい景観と環境を未来の世代に引き継いでいこうと努力しています。過疎地域の森林や農地、農山漁村は、国土の保全、水源のかん養、自然環境の保全、保健衛生、地球温暖化の防止などの多面的機能を発揮しています。  
25 過疎地域が都市地域と相互に補完し合い、交流を進め、より多くの人々が過疎地域において多様な生活を営むことのできる場として整備していくことを通じて、自立的な地域社会を構築していくことが必要です。

地域の問題を解決し、より良い地域を目指すための試みが、行政を含め多種多様な団体によっておこなわれています。子どもの森は、地域の方々と一緒になって中山間地  
30 域の里山景観と環境保全を切り口として、中山間地域の諸問題に取り組んでいければと考えています。それぞれの団体が協働して総合的な取り組みをおこなう必要性もあります。そんな思いもあって、宮崎県の委託事業である「協働商談会開催事業」を、宮崎県生活・協働・男女参画課と協働して「協働創出市～協働商談会（県北地区）想いを”かたちに”」を開催しました。

35 命の営みであった食の生産が、経済活動へと組み込まれて効率・利益を偏重する結果、化学肥料の集中利用、大型機械を用いた大規模経営が標準となり、季節と自然に調和した昔ながらの農業が見られなくなってきました。流通にも効率・経済性が強く求められ、結果として生産者の顔、生産・加工のプロセスが見えにくくなっています。

加工・調理品の中にはどこの国から入ってきたものかさえわからないものもあるほどです。さらに、いま我々は季節や地域を問わずさまざまな食材を手に入れることができるようになりました。しかし同時に、食べ残しや賞味期限切れによる破棄も急増して環境への負荷も増大し、輸入食品による運搬で過大なエネルギーを使用しています。そして、一粒のお米にも感謝の念をおぼえたほんの数十年前とは大変な変わりようです。健全な食は健全な環境から生み出されるものです。

そのような背景から、地域の小学生とその保護者に対して、四季を通した自然体験や農業体験から自然の大切さを理解し、将来の自然環境の守り手に育ててもらえるような環境学習として、「四季をまるごと体験e c oスクール」を開催しています。

スギ林に広葉樹が入ることによって林床に多様な落葉が供給され、土壌も豊かになります。このためスギも広葉樹も元気よく成長して病虫害にも強い森林になります。また、木の根が浅いところから深いところまで広く張り巡らされて土をしっかりと掴むことから、土砂災害などに強い森林になることが期待できます。育ったスギを伐採（抜き切り）する頃には後継樹として広葉樹が育ってきているので、常に木材という資源が育成している循環型の森林になります。将来的には広葉樹林になりますが、これらも用材としての活用が期待できます。木の実やキノコ、山菜などの山の幸が豊富に育ち、恵み豊かな森林になります。また、これらを好む動物たちも増えることが期待されます。春にはまばゆい新緑、秋には色鮮やかな紅葉、また林内には季節折々の山野草の花々が見られるようになります。これらの景観は、私たちの心に安らぎに満ちた一時を与えてくれます。そのような林業のモデル的森づくりである杉（針葉樹）の雑木（広葉樹）の混交林である子どもの森1号地の植樹した苗木が大きく成長し苗木の育林の必要もなくなりました。

日本では昔から竹を身近な資源として暮らしの中に上手に取り入れて生活してきました。春には筍を食料にし、竹でざるや籠などを編み、殺菌力のある竹の皮でお弁当を包み、日用品から工芸品まで幅広い用途で活用されてきました。しかし、最近では安価な外国産が輸入され、また竹製品に代わるプラスチック製品が広く一般的に使用されるようになり国産の竹の需用は著しく減少し、その結果として最近では、放置されたままの竹林が増え問題視されるようになりました。竹の地下茎は30cmと浅く、森林や里山を構成する広葉樹のように大きな治水効果がありません。最近では大雨のたびに土砂災害や地すべりの危険が取り沙汰されるまでになりました。そのような放置された竹林の整備と伐採した竹の有効活用を進めている妖精の森では、ローソン緑の募金事業として平成22年度から3年間継続認定され、株式会社ローソン社員と地域のローソン店舗から参加者もありました。

平成25年度の活動においても、企業や他の団体、学校や労働団体と一緒に協働を意識した森づくりや環境体験型学習、自然交流活動を進めて行きたいと思えます。さらに、中山間地域を活気あふれる場所にする試みにも取り組んでいきたいと思えます。

## 報告事項Ⅰ．平成24年度活動経過報告

### 1. 事業の成果

- 5 ①環境プログラム（川をたのしく親しもう、森で過ごそう森に学ぼう、春をたのしもう）を実施することで里山等の自然体験交流と自然環境を理解してもらうための啓発活動ができた。
- ②環境文庫（森の学舎）にて、森の学舎の常時活用と環境問題全般を学習できる場を提供することができた。
- 10 ③森林環境セミナーの実施にて、環境問題への取組みのひとつである森づくり活動に継続して参加しているボランティアと、これから参加しようと考えている人に対して、森づくり活動に必要な知識を付与することができた。
- ④平成18年度から引き続き森林の再生活動（門川高等学校演習林）と平成21年度から始めた竹林の整備の実施にて、森林環境の保全活動ができた。
- 15 ⑤県北地域の親子が、11カ月間を通して自然環境を考える体験型環境学習（四季をまるごと体験 eco スクール）で、より深く多面的に自然環境を理解してもらう啓発活動ができた。
- ⑥協働創出市2012（協働商談会事業）を企画開催することで、地域の行政や労働団体とNPO等の協働を推進することができた。
- ⑦Web ページと広報紙の発行により、活動の情報発信と環境問題の啓発活動ができた。

### 20 2. 事業内容（特定非営利活動に係る事業）

#### （1）農林漁業などの産業体験や里山等の自然体験交流事業

##### ①椎茸ホダ木の管理（ほだ場作業）

- 25 ・実施日：5月20日、11月4日、  
・実施場所：森の学舎（門川町大字川内字イカダ場 3412-1※以降省略）  
・参加者：延べ15人

30 平成22年度の「森林環境セミナー」と「山菜料理と椎茸菌コマうち体験」でコマ打ちをして本伏せ状態にしていたホダ木を椎茸収穫のために起こした。また、平成23年度の「森林環境セミナー」でコマ打ちして仮伏せをしていたホダ木を、森の学舎裏のホダ場に移して本伏せ状態にした。

##### ②川を活用した自然体験交流（川をたのしく親しもう）

- 35 ・実施日：7月29日  
・実施場所：森の学舎と五十鈴川  
・参加者：27人（内子供15人）  
・スタッフ：9人  
・協力：宮崎県ネイチャーゲーム協会（4人）  
・後援：宮崎県教育委員会  
40 ・助成等：子どもゆめ基金  
・取材：わいWaiTV（延岡ケーブルTV）

45 親子を対象に、ネイチャーゲームで自然をさまざまな感覚や心を通じて理解し、自然と自分が一体であることを学び、川あそびをとおして自然の豊かさを楽しみ、自然の大切さを学んだ。この体験を通して豊かな森と水を含め環境を守るために参加者が自分で出来ることを見つけるためのきっかけづくりができた。

##### ③山菜収穫と料理の体験（春をたのしもう）

- ・実施日：平成25年3月30日

- ・実施場所：森の学舎
  - ・一般参加者：14人
  - ・企業参加：ローソン・グループ 9人
  - ・スタッフ：2人
- 5 取 材：わいWaiTV（延岡ケーブルTV）

森の学舎周辺の田んぼや土手で、食べることができる野草・山菜を探し収穫し料理をして春の自然を楽しみ自然の大切さを学んだ。

10 (2) 中山間地の荒廃した里山の環境保全再生事業

①水源の涵養や災害防止など森林の持つ公益的機能の再生事業

- ・実施日：3月23日
  - ・実施場所：門川高校演習林（門川町大字川内字中山1102-1）/GOCAN（五感）の森
  - ・参加者：15人
- 15 助成等：宮崎県森林づくり活動支援事業

台風で植林されていた杉が流された門川高等学校演習林の自然環境の復元を図るために、平成18年度に門川高校生と協働して広葉樹を植樹したフィールドに、ヤマザクラとスダジイの補植樹をおこなった。

20

②放置竹林の広葉樹林への復元活動

- ・実施日：6月30日、7月1日、11日、平成25年1月26日、27日、3月2日、3月30日（春をたのしもうと同時開催）計7回
  - ・実施場所：森の学舎裏の竹林（門川町大字川内字イカダ場3400-7）/妖精の森
  - ・参加者：延べ57人
- 25 助成等：宮崎県森林づくり活動支援事業、緑の募金特定公募事業

手入れがされず放置されている竹林を、子どもが入り遊ぶことができる広葉樹の林に再生し、人や動植物にやさしい自然環境と水源かん養や災害の防止など森林の公益的機能の維持増進を図るために、平成21年度から継続して竹の伐採を続けた。

30

伐採した竹林の面積は約0.05haで、伐採竹で棚を作り、棚に倒竹や竹笹部分等を積んで行った。その他に、伐採竹を下記の通り活用した。

- 1) 四季をまるごと体験ecoスクールでの竹イカダ
- 2) 竹炭

35

- 3) 粉砕機でチップにして、堆肥作りを兼ねて森の学舎グラウンドの一部に散布

平成25年3月30日は「春をたのしもう」と同時開催により26人（内企業からの参加が9人）の参加があり、平成21年度と22年度に竹を伐採し広葉樹の植樹をした空間に広葉樹（ヤマザクラ・スダジイ・クヌギ）を補植した。

40

③子どもの森1号地

平成18年3月に400本を植樹した杉（針葉樹）と広葉樹の混交林である子どもの森1号地は、苗木も大きくなり下草刈の必要がなくなっているため、植樹した広葉樹の成長調査のみを実施した。現在は、フィールド所有者による枝打ちと間伐が行われている。

45

(3) 地域の自然環境などを理解してもらうための啓発活動

①四季をまるごと体験ecoスクール

- ・実施日：5月26日、6月9日、7月7日、8月11日、9月1日、10月27日、11月17日、平成25年1月19日、2月23日、3月9日、10日 計11回
  - ・実施場所：森の学舎
- 50

- ・参加者：22人（子供15人）、スタッフ：延べ6人
- ・助成等：子どもゆめ基金

地域の小学生とその保護者に対して、四季を通じた自然体験や農業体験から自然の大切さを理解し、将来の自然環境の守り手に育ててもらうために、11カ月の期間を通して、同じ参加者で、スクール形式により下記のことを実施した。

- 1) ネイチャーゲーム（フェニック宮崎ネイチャーゲームの会）
- 2) 麦刈り・脱穀
- 3) スクールの旗作り
- 4) ダンボールコンポストによる堆肥づくり（宮崎ダンボールコンポスト門川支部）
- 5) 竹イカダを作り川下りによる河川清掃
- 6) 塩づくり
- 7) 麦畑づくり、麦種蒔き
- 8) 環境学習（なんでもマイルージ）
- 9) イチゴの収穫（松田農園）とイチゴ酵母づくり
- 10) 乳牛牧場での酪農体験（矢北牧場）とバターづくり
- 11) 石臼による小麦挽き
- 12) パンづくり
- 13) 文集制作

#### ②森林を活用した体験型啓発活動（森で過ごそう森に学ぼう）

- ・実施日：12月2日
- ・実施場所：森の学舎
- ・参加者：19人（子供10人）、スタッフ：4人
- ・助成等：子どもゆめ基金

樹木の二酸化炭素吸収量を測定し、樹木が二酸化炭素削減に大きな役割を果たしていることを学習した。また、参加者がドングリを自宅で苗木へと育てるために、ドングリの竹ポットを作った。自然における樹木に愛着を持ち樹木の大切さを知ること、自然環境を理解する啓発活動となった。参加者で育てたドングリの苗木は、数年後に地域の山への植樹へと発展させる。

#### （4）市民活動の活性化に関わる企画、コーディネート事業

##### ①協働創出市2012

- ・実施日：平成25年3月13日
- ・実施場所：クリエイティブセンター門川
- ・参加団体：36団体（73人）
- ・助成等：宮崎県生活・協働・男女参画課の委託事業

県北地区において、行政とNPO等、労働団体とが話し合いや意見交換をする機会を設けることで、多様な団体等とを結び付け新しい協働を創出する「協働商談会」の企画開催をした。また、事業の一部としてWebページの管理運営も行った。

##### ②森林環境セミナー（森づくりボランティアの養成）

- ・実施日：平成24年3月24日
- ・実施場所：森の学舎
- ・受講者数：6人、スタッフ：2人、講師：3人
- ・助成等：宮崎県森林づくり活動支援事業

環境問題への取組みのひとつである森づくり活動に継続して参加するボランティアの必

要な知識を習得するためのセミナーで、今回が5年目（5度目）の開催となった。

- 1) 森づくりのための森林生態学（宮崎大学農学部准教授 高木正博さん）
- 2) 森づくりボランティアの紹介（横山理事長）
- 3) 植物観察（県北植物愛好会 成迫平五郎さん）

5

#### (5) 活動の情報発信・啓発のための事業

##### ①Webサイトの運営

・実施時期：4月～平成25年3月

10 子どもの森のすべての活動と自然環境啓発等を、月5回のWebページ更新にて情報発信をした。1日平均10件のWebページ（トップページ）の閲覧があった。

##### ②機関紙の発行

・発行月：7月

15 子どもの森の前年度活動と自然環境啓発等を、機関紙「子どもの森通信9号」をA4サイズ12ページで発行をして情報発信ができた。機関紙は、正会員・賛助会員・行政機関・活動助成元等と、子どもの森の活動紹介で関係者へ配布した。また、Webページからもダウンロードできるようにした。

##### ③事業案内チラシの作成

・実施時期：各事業の開催1カ月～2カ月前

20 宮崎県や宮崎県教育委員会等の後援をもらい、それぞれの事業や活動の案内チラシや参加者募集チラシを作成した。主に県北の図書館や近隣のスーパー等においてもらった。また、Webページからもダウンロードできるようにした。

#### (6) その他目的を達成するために必要な事業

##### ①森の学舎の有効活用としての施設開放

- 1) 宮崎県リレー上映会実行委員会（古田代表）による「シェーナウの想い」無料リレー上映会（9月8日）
- 2) 門川短歌に親しむ会主催で川村節子さんを招いた短歌講座（12月8日）

30

##### ②森の学舎の環境整備

- ・渡り棟に靴箱の設置
- ・グラウンドに炭焼き窯小屋を設置
- ・採光窓を使った飾り棚の作成
- ・ライフジャケット掛棚の作成
- ・石窯の修理
- ・環境文庫に本箱を6個増設
- ・グラウンドの草刈

35

##### ③各種講演や事業説明

- 1) 2012全国廃校活用現地セミナー（九州地区）in熊本（6月14日、15日）

45 廃校なった小中学校を再生可能な貴重な地域財産として捉え、様々な形で有効活用を考えるセミナーで、現に廃校を活用している団体やこれから活用しようと考えている会社、民間団体、行政の約40人が参加し、横山理事長が、森の学舎の活用事例報告をおこなった。

主 催：財団法人都市農山漁村交流活性化機構

会 場：きくちふるさと水源交流館（旧菊池東中学校）

参加者：横山純子理事

50

2)九州環境ボランティア会議での活動発表とパネルディスカッション（11月18日）

九州内の県単位で持ち回り開催している「第9回九州環境ボランティア会議 in 宮崎」の第1分科会で、横山理事長が、子どもの森の活動発表とパネルディスカッションのパネリストとして参加した。

5

主 催：九州環境ボランティア会議 in 宮崎実行委員会

会 場：綾てるはの森の宿

参加者：横山謙一理事長

10

④シニア・団塊世代応援フェア in 延岡（平成25年1月13日）

高齢者の豊富な知識や経験を生かして多様な分野で社会参加することにより、高齢者自身のいきがい・健康づくりはもとより、地域・社会全体の活性化を図るために、団塊世代でいきいきと活動をされている俳優の岡本信人氏の講演やトークショー、地域活動団体の紹介（ワールド・カフェ）が行われ、地域活動団体の一つとしてフェアに参加した。

15

主 催：宮崎県長寿介護課・宮崎県社会福祉協議会

会 場：キャトルセゾン・マツイ

参加者：横山謙一理事長、横山純子理事

20

⑤黄色いレシートキャンペーン（平成25年2月11日）

7年間にわたり支援を受けているイオン黄色いレシート・キャンペーンの日において、イオングループ2店舗で黄色いレシート・キャンペーンの普及協力と子どもの森のPRを実施した。

25

店 舗：ホームワイド財光寺店、イオン日向店

参加者：横山謙一理事長、他1名

### 3. 寄付金・助成金等

30

(1) 宮崎県森林づくり活動支援事業（宮崎県森林環境税）

高校生とのGOCANの森への補植樹・森の学舎裏山の竹林伐採跡地への補植樹の事業費203千円に対して、149千円の助成を受けました。

35

(2) 2期緑の募金特定公募事業（国土緑化推進機構緑）

妖精の森の伐採（竹林の整備）した竹を炭にするために購入した簡易炭窯を使って、平成23年度以前に伐採した竹の一部を炭に加工できました。また、伐採した竹は、前年度から継続して樹木粉碎機を使ってチップにもしました。平成23年7月から平成24年6月までが、緑の募金特定公募事業の事業期間であり、事業費790千円に対しての助成額は、785千円でした。

40

(3) 3期緑の募金特定公募事業継続（国土緑化推進機構緑）

平成23年度の緑の募金特定公募事業（竹林の整備）の継続事業として、平成24年7月～平成25年6月までに実施する妖精の森の竹伐採と伐採竹の活用について、496千円の助成を受けることになっています。平成25年3月までに、約85千円を支出しました。また、3月30日の竹林の整備活動に、緑の募金を企業全体とローソン店舗で取り組んでいる株式会社ローソン宮崎支店とローソン日向病院前店の代表者の参加がありました。

45

(4) 子どもゆめ基金（国立青少年教育振興機構）

① 四季をまるごと体験e c oスクール（第2期）開催の事業費584千円に対して、451千円の助成を受ける予定です。

50

② 川をたのしく親しもう開催の事業費 141 千円に対しての助成額は、116 千円でした。

③ 森で過ごそう森に学ぼう開催の事業費 86 千円に対しての助成額は、73 千円でした。

(5) 協働商談会開催事業委託費（宮崎県生活・協働・男女参画課）

5 552 千円の委託費を受けて、宮崎県北の行政や企業と NPO との協働事業を推進するためのマッチング事業である協働商談会（協働創出市 2012）を実施しました。委託費収入の内 34 千円が事務経費（粗利）となりました。この事務経費は、一般管理費と各種助成事業での自己負担額に充当しました。

10 (6) イオン黄色いレシートキャンペーン

黄色いレシートキャンペーンの投函箱を、ホームワイド出北店・マックスバリュース南延岡店/岡富店・ホームワイド財光寺店・イオンロックタウン日向店に設置しています。投函されたレシート金額の 1% が団体に商品券で寄贈されます。平成 24 年度は、120 千円の商品券が寄贈されました。商品券については、一般管理費と助成事業での自己負担額に充当しました。

15 (7) ろうきん NPO 寄付

預金者が応援したい NPO 法人へ、希望する金額を、希望する日に、預金者に代わって普通預金口座から寄付先団体の口座に自動振替する制度です。1 回の寄付額は 100 円以上（100 円単位）です。平成 24 年度は、4 件 3 千円の寄付がありました。

(8) 事業収入と一般寄付

25 環境プログラム（川をたのしく親しもう、森で過ごそう、春をたのしもう）の参加費・森林環境セミナーの受講料・森の学舎開放での収入・理事からの寄付等で、総額 221 千円がありました。この事業収入と一般寄付は、一般管理費と助成事業での自己負担額に充当しました。

4. その他

30 (1) 新聞報道等で、子どもの森の活動他の紹介が、下表の様にありました。

わい WaiTV	四季をまるごと体験 eco スクール開校	5 月 30 日放映
	川をたのしく親しもう	8 月 2 日放映
	四季をまるごと体験 eco スクール閉校	平成 25 年 3 月 12 日放映
	協働創出市 2012	平成 25 年 3 月 15 日放映
	植樹&春を楽しもう	平成 25 年 4 月 3 日放映
宮日新聞	探検気分で自然を満喫 (四季をまるごと体験 eco スクール)	6 月 1 日掲載
	官民協働どう実現 (協働創出市 2012)	平成 25 年 3 月 19 日掲載
eco みやざき No.85	未来へ、いい自然環境をつなげたい (子どもの森の紹介)	秋号

※上記、宮崎新聞は、許可を得て Web ページに掲載しています。

(2) 森づくりシンポジウム

35 11 月 25 日に宮崎県立図書館 2 階研修ホールで開催された「みやざき森づくりボランティア協議会」主催の「森づくりシンポジウム」のスタッフとして、会員 2 人が参加しました。「昆虫の目でみる自然」をテーマに、昆虫写真家の新開孝さんの講演がありました。

(3) 「わたしのふる里宮崎」への協力

「わたしのふる里宮崎」（矢野宗一代表）が、営業展開しようとしている宮崎の森を箱の中で表現する「癒しの森（フギユア）」の制作を手掛けることを、第3回理事会（8月27日開催）にて決定して、予備費から60千円の出資をおこないました。

5 矢野宗一代表が、森を箱の中で表現した商品で、自然環境に触れることができない都会に住んでいる人や心病んでいる人達への癒しを通した社会貢献事業として展開し、「癒しの森」のリースや販売にて得られる利益の一部を宮崎県で活動している森づくり団体への寄付で、森づくりをボランティアで頑張っている人たちへの協力支援していきたいとの思いに賛同し、子どもの森が中間支援事業をこれから展開するにあたり森づくり団体への寄付先選択の事務などを任せてもらえることになったため「わたしのふる里宮崎」の「癒しの森」制作

10 に関わっていくこととしました。  
出資金により「癒しの森」の制作権利と制作する素材の提供を受け、制作した「癒しの森」の販売（リースも含む）を「わたしのふる里宮崎」がおこなって、売上価格から出資金相当額と制作者の人件費を支払うシステムになっています。

#### 15 (4) 協働創出市について

宮崎県生活・協働・男女参画課の協働商談会委託事業として、3回目の開催となった協働創出市の事業は、今回はじめて有償ボランティアをお願いして事業展開を進めていきました。この事業は、県内で他の地域3箇所（県央・県南・県西）でも開催されています。

20 子どもの森では、多種多様な団体（NPO・地縁組織・企業・教育機関・行政等）が協働して活動することが、地域の問題を解決ができる有効な手段であることを丁寧な団体訪問により説明して協働創出市で協働できるパートナー探しをするために参加をお願いしてきました。そして、目標としていた40団体参加には足りませんでした。協働に理解と意義を感じてくれる団体の参加を36団体にすることができました。ただ、残念なことに企業の参加が全くありませんでした。企業においては、景気が先行き不透明な県北地域において利益追求に追われ他の非営利団体との協働で地域の問題を解決して行く機運がないようです。

25 事業終了後の次年度継続を任せるかどうかのヒアリングが、3月26日におこなわれましたが、評価者である委員が参加団体数の少なさを指摘してきました。他の地域で委託開催した団体は、それぞれの地域で中間支援的な業務を市町村等行政から請け負っている団体でしたので、声をかければお付き合いで参加してくれる企業やボランティア団体も多くあり、さ

30 ほど苦労なく団体を集めることができたのではないかと思います。委員が、協働の機運作りよりも参加団体の数（協働商談会開催自体）を重要視していたことが残念です。

#### 協働創出市参加団体

特定非営利活動法人子どもの森	宮崎県(生活・協働・男女参画課)
宮崎難病相談支援センター	九州労働金庫
特定非営利活動法人五ヶ瀬川流域ネットワーク	特定非営利活動法人ささゆり
日向市市民協働課	NPO法人福祉支援協会ライフサークル
宮崎県社会福祉協議会地域・ボランティア課	日本労働組合総連合会宮崎県連合会
宮崎県福祉保健部長寿介護課	特定非営利活動法人ひめしやら倶楽部
NPO法人学校支援のべおかはげまし隊	宮崎ダンボールコンポスト県北支部
門川町役場(総務課)(企画財政課)	特定非営利活動法人日向渚を守る会
チャペル延岡心のネットサークル	空と大地の会
日向市男女共同参画社会づくり推進ルーム協議会さんびあ	日向轍の会
宮崎「橋の日」実行委員会	さるなしの里
社会福祉法人門川町社会福祉協議会	門川町子ども見守りネットワーク推進会議
わたしのふる里宮崎	宮崎県防災士ネットワーク
全労済宮崎県本部	延岡精神保健福祉をすすめる会
フェニックス宮崎ネイチャーゲームの会	宮崎県ネイチャーゲーム協会
宮崎県環境森林課みやざきの森林づくり推進室	宮崎県工業支援課
延岡ひかりの会	延岡市企画部経営政策課
宮崎県社会福祉協議会健康いきがい課(長寿社会推進センター)	門川町観光協会

平成24年度事業経過一覧

月	実施日	活動名	場所	備考/内容/一般参加者募集
4	11(水)	会計監査	事務局	
	14(土)	竹林整備	妖精の森	竹伐採、タケノコ除去
	16(水)	理事会	事務局	
	22(日)	第12回通常総会	森の学舎	総会終了後「山菜を食べよう会」を開催
5	4/29(祝)、2(水) 3(祝)、4(祝)、5(祝)	森の学舎の施設整備	森の学舎	下駄箱・簡易炭窯などの設置
	12(金)	理事会	事務局	
	13(日)	ecoスクールの準備	森の学舎	麦刈りについて
	19(土)	竹林整備	妖精の森	竹伐採、タケノコ除去
	20(日)	椎茸栽培	森の学舎	ホダ木の本伏せ
	26(土)	ecoスクール	森の学舎	開校式、ネイチャーゲーム、麦刈り
6	9(土)	ecoスクール	森の学舎	麦の脱穀、スクール旗作り、ダンボールコンポスト
	10(日)	ecoスクールの後備	森の学舎	麦の脱穀
	14(木)、15(金)	2012全国廃校活用現地セミナー(九州地区)in 熊本	きくちふるさと水源交流館	横山理事
	17(日)	みやざき森づくりボランティア協議会総会	宮崎市民プラザ	横山理事長、横山理事
	23(土)	森の学舎の施設整備	森の学舎	飾り棚、流し台周り
	30(土)	竹林整備	妖精の森	竹伐採、粉碎
7	1(日)	森の学舎の整備、竹林整備	森の学舎と周辺妖精の森	草刈り
	7(土)	ecoスクール	森の学舎	竹イカダ作り
	22(日)	川をたのしく親しもうの準備	森の学舎	
8	29(日)	川をたのしく親しもう	森の学舎、五十鈴川	ネイチャーゲーム、川あそび
	4(土)	ecoスクールの準備	五十鈴川	川下りについて
	9(木)	協働商談会公募説明会	県庁	横山理事
	11(土)	ecoスクール	森の学舎、五十鈴川	竹イカダでの五十鈴川清掃
	18(土)、20(日)	炭焼き、炭だし	森の学舎	
9	27(月)	理事会	事務局	
	1(土)	ecoスクール	日向灘、森の学舎	塩作り
	8(土)	施設開放(リレー上映会)	森の学舎	シェーナウの想い
	9(日)	みやざき森づくりボランティア協議会研修	ロキシーヒル	
	29(土)	竹炭焼きの準備	森の学舎	



月	実施日	活動名	場所	備考/内容/一般参加者募集
10	6(土)、8(祝)	竹炭焼き	森の学舎	
	10(水)	協働商談会ヒアリング	県庁	横山理事長、横山理事
	21(日)	ecoスクールの準備	森の学舎麦畑	麦畑作り
	27(土)	ecoスクール	森の学舎麦畑と近くの畑	麦畑作り、野菜収穫、野外炊飯
11	3(土)	石窯の修理	森の学舎	
	4(日)	しいたけホダ木おこし	森の学舎ホダ場	
	11(日)	ecoスクールの準備	森の学舎麦畑	麦畑作り
	17(土)	ecoスクール	森の学舎	麦撒き、環境学習
	18(日)	九州環境ボランティア会議	綾てるはの森の宿	横山理事長
	24(土)	森で過ごそう森に学ぼうの準備	森の学舎	
25(日)	森づくりシンポジウム	宮崎県立図書館	みやざき森づくりボランティア協議会主催	
12	1(土)	森で過ごそう森に学ぼうの準備	森の学舎	
	2(日)	森で過ごそう森に学ぼう	森の学舎	二酸化炭素測定、ドングリ・ポット作り
	8(土)	施設開放(短歌講座)	森の学舎	
1	13(日)	団塊世代応援フェア	キャトルセゾン・マツイ	横山理事長、横山理事
	19(土)	ecoスクール	矢北牧場、森の学舎	酪農体験、石臼小麦粉作り
	26(土)	竹林の整備	妖精の森	竹棚づくり、竹炭焼き準備
2	11(祝)	黄色レシートキャンペーン	ホームワイド財光寺店 イオン日向店	子どもの森PR活動
	15(金)	理事会	事務局	
	23(土)	ecoスクール	松田農園、森の学舎	イチゴ酵母作り、石臼小麦粉作り
3	2(土)	補植の準備	妖精の森	目印竹たて、草刈り
	9(土)、10(日)	ecoスクール	森の学舎	石窯パン焼き、文集作り、閉校式
	13(水)	協働創出市 2012	クリエイティブセンター門川	
	16(土)	竹林の整備	妖精の森	
	23(土)	高校生との森づくり	GOCAN の森	補植、お楽しみ昼食
	24(日)	森づくりのための森林環境等学習	森の学舎	植物観察、森林生態、森づくり活動の現状・必要性
	30(土)	植樹と春の山菜・野草を楽しむ	妖精の森、森の学舎	補植樹、山菜収穫、竹林整備



報告事項Ⅱ. 平成24年度活動決算報告

平成24年度 特定非営利活動に係る活動計算書  
(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)

科目	金額		備考	
I 経常収益				
1. 受取会費				
正会員受取会費	61,000		正会員:11人×5,000、特別会員:1人×1,000、前年度未納分:5,000 5人×5,000、前年度未納分:15,000	
賛助会員受取会費	40,000	101,000		
2. 受取寄付金		161,142	イオン黄色いレシート、ろうきんNPO寄附金、個人寄付4件 他	
3. 受取助成金等		1,557,680	子どもゆめ基金:638千、緑の募金:770千、森林づくり活動:149千	
4. 事業収益				
自主事業収益	180,400		各プログラム参加費、森の学舎使用料 協働創出市	
委託事業収益	552,750	733,150		
5. その他収益		22,030	シニア団塊世代応援フェアin延岡参加料、セミナー講師謝金 他	
経常収益計		2,575,002		
II 経常費用				
1. 事業費				
(1)人件費				
給料手当	528,100		協働創出市、ecoスクール、竹林の整備、川をたのしく 他 ecoスクール、協働創出市、川をたのしく、森で過ごそう	
臨時雇賃金	54,000			
人件費計	582,100			
(2)その他経費				
修繕費	17,634		チェーンソー点検修理、鉦・鎌の砥ぎ ecoスクール、川をたのしく、森林環境セミナー、竹林の整備 ecoスクール散紙印刷(業者)、他事業はトナー代 ecoスクールと森林環境セミナーの新聞広告・FM延岡広告 協働創出市、森林づくり活動 ecoスクール、森林環境セミナー、協働創出市 他 協働創出市、ecoスクール、簡易炭窯輸送費 ecoスクール 他事業すべて 協働創出市での会場代 竹林の整備、川をたのしく、ecoスクール	
諸謝金	158,200			
印刷製本費	359,700			
広告宣伝費	29,190			
Webページ運営費	36,000			
旅費交通費	167,240			
通信運搬費	48,930			
消耗品費	481,016			
会議費	26,900			
損害保険料	53,827			
その他経費計	1,378,637			
事業費計		1,960,737		
2. 管理費				
(1)人件費				
給料手当	6,000			黄色いレシート・キャンペーン
臨時雇賃金	0			
人件費計	6,000			
(2)その他経費				
印刷製本費	27,090		プリンタートナー ドメイン使用料 物品購入、黄色いレシートキャンペーン、各種会議 助成金申請・報告、事務局電話料、森の学舎携帯 文房具 他 みやざき森づくりボランティア協議会 総会  印紙 森の学舎(土地賃借料、浄化槽管理費、電気代) 森の学舎スペアキー、椎茸発送費 他 LANハードディスク、癒しの森協賛金、書籍6冊 チャージャー2台、耕うん機、簡易炭窯	
Webページ運営費	7,752			
旅費交通費	14,330			
通信運搬費	34,723			
消耗品費	9,438			
諸会費	3,000			
会議費	5,006			
研修費	0			
損害保険料	0			
租税公課	200			
施設管理費	179,025			
雑費	6,695			
予備費	76,230			
減価償却費	467,520			
その他経費計	831,009			
管理費計		837,009		
経常費用計		2,797,746		
当期正味財産増減額		-222,744		
前期繰越正味財産額		3,106,507		
次期繰越正味財産額		2,883,763		

《参考》

平成24年度 特定非営利活動に係る活動計画書  
(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)

科目	金額		備考	
I 経常収益				
1. 受取会費				
正会員受取会費	77,000		正会員:15人×5,000、特別会員:2人×1,000 12人×5,000	
賛助会員受取会費	60,000	137,000		
2. 受取寄付金				
受取寄付金		368,000	イオン黄色いレシート、人件費の一部 他	
3. 受取助成金等				
受取助成金		2,048,911	子どもゆめ基金:663千、緑の募金特定公募事業:740千+496千、森林づくり活動:149千	
4. 事業収益				
自主事業収益	174,000		参加者負担 協働創出市	
委託事業収益	737,000	911,000		
5. その他収益				
雑収入		1,000	預金利息 他	
経常収益計			3,465,911	
II 経常費用				
1. 事業費				
(1)人件費				
給料手当	453,400		協働創出市、竹林の整備 川をたのしく、森で過ごそう、ecoスクール、協働創出市	
臨時雇賃金	179,000			
人件費計	632,400			
(2)その他経費				
備品	448,980		簡易炭窯(竹林の整備) 川をたのしく、ecoスクール、森林等環境学習 ecoスクール散紙印刷(業者)、他事業はトナー代 森林づくり活動(広告料含む)、緑の募金特定公募事業	
諸謝金	136,600			
印刷製本費	527,240			
Webページ運営費	67,500			
旅費交通費	154,600			
通信運搬費	84,800			
消耗品費	590,581			
会議費	71,000			
損害保険料	90,360			
雑費	28,560			
予備費	87,600			
減価償却費	93,387			
その他経費計	2,381,208			
事業費計		3,013,608		
2. 管理費				
(1)人件費				
給料手当	0		黄色いレシート・キャンペーン	
臨時雇賃金	6,000			
人件費計	6,000			
(2)その他経費				
旅費交通費	25,000		各種会議、ラジオ・テレビの収録 他 郵便、事務局電話料、森の学舎携帯 文房具 他 みやざき森づくりボランティア協議会 総会、理事会 みやざき森づくりボランティア協議会 他 ボランティア保険 助成金申請、県事業報告用 土地借用代、浄化槽管理費、電気代 振込手数料 他 チャージャーシュレッダー2台、耕うん機	
通信運搬費	25,000			
消耗品費	12,000			
諸会費	3,000			
会議費	8,000			
研修費	10,000			
損害保険料	11,000			
租税公課	3,000			
施設管理費	150,000			
雑費	1,000			
予備費	13,000			
減価償却費	284,645			
その他経費計	545,645			
管理費計		551,645		
経常費用計				3,565,253
当期正味財産増減額			-99,342	
前期繰越正味財産額			3,106,507	
次期繰越正味財産額			3,007,165	

科目	山をたのしく 親しもう	森で過ごそう 森に学ぶよう	四季をまる ごと体験eco スクール	GODANの森 （森の育・森の育） 森林整備推進学習	妖精の森 （竹島の整備） H23.7～H24.6	妖精の森 （竹林の整備） H24.7～H25.6	協働創出市 2012	春の山登・野 歩き集し心	森の学舎整備 と推進学習	事業部門計	管理部門	合計
I 経常収益												
1. 受取会費												
正会員受取会費											61,000	61,000
賛助会員受取会費											40,000	40,000
2. 受取寄付金												
受取寄付金	0	0	6,000	0	10,000	0	0	0	0	16,000	145,142	161,142
3. 受取助成金等	12,407	11,428	35,262	9,795	26,447	62,688	68,565	7,836	172,392	406,819	258,098	664,917
4. 事業収益	114,000	73,007	451,438	149,000	687,561	82,674	--	--	--	1,557,680	--	1,557,680
自主事業収益	20,400	14,000	132,000	3,000	0	0	0	2,600	0	172,000	8,400	180,400
委託事業収益	--	--	--	--	--	--	552,750	--	--	552,750	--	552,750
5. その他収益	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	22,030	22,030
雑収入	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	22,030	22,030
経常収益計	146,807	98,435	624,700	161,795	724,008	145,362	621,315	10,436	172,392	2,705,249	534,670	3,239,919
経常費用												
(1) 人件費												
給料手当	21,000	12,000	105,000	3,000	70,000	34,300	282,800	0	0	528,100	6,000	534,100
臨時雇賃金	6,000	9,000	15,000	0	0	0	24,000	0	0	54,000	0	54,000
ポランティア評価費用	12,407	11,428	35,262	9,795	26,447	62,688	68,565	7,836	172,392	406,819	258,098	664,917
人件費計	39,407	32,428	155,262	12,795	96,447	96,988	375,365	7,836	172,392	988,919	264,098	1,253,017
(2) その他経費												
備品	--	--	--	--	(399,000)	--	--	--	--	--	--	--
修繕費	--	--	--	7,234	10,400	--	--	--	--	17,634	0	17,634
諸謝金	51,800	0	74,400	16,000	10,000	0	6,000	0	0	158,200	0	158,200
印刷製本費	0	0	115,500	52,950	98,850	0	92,400	0	0	359,700	27,090	386,790
広告宣伝費	0	0	0	10,500	0	0	18,690	0	0	29,190	0	29,190
Webページ運営費	0	0	0	15,000	21,000	0	0	0	0	36,000	7,752	43,752
旅費交通費	4,760	5,500	62,960	48,330	2,720	7,000	35,970	0	0	167,240	14,330	181,570
通信運搬費	0	0	8,535	1,840	17,430	105	21,020	0	0	48,930	34,723	83,653
消耗品費	34,707	59,507	193,545	48,967	59,996	44,191	9,977	4,726	25,400	481,016	9,438	490,454
諸会費	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	3,000	3,000
会議費	0	0	0	0	0	0	26,900	0	0	26,900	5,006	31,906
研修費	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	0	0
損害保険料	22,886	0	9,801	0	21,140	0	0	0	0	53,827	0	53,827
租税公課	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	200	200
施設管理費	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	179,025	179,025
雑費	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	6,695	6,695
予備費	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	76,230	76,230
減価償却費	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	467,520	467,520
その他経費計	114,153	65,007	464,741	200,821	640,536	51,296	210,957	4,726	25,400	1,378,637	831,009	2,209,646
経常費用計	153,560	97,435	620,003	213,616	736,983	148,284	586,322	12,562	197,792	2,367,556	1,095,107	3,462,663
当期経常増減額	△ 6,753	1,000	4,697	△ 51,821	△ 12,975	△ 2,922	34,993	△ 2,126	△ 25,400	337,693	△ 560,437	△ 222,744

※ポランティア受入評価とポランティア評価費用について  
活動報告書には、反映させていません。  
事業部門は1日一人の作業ポランティア参加を3Hとし、宮崎県の最低賃金にて計上している。  
管理部門と事業部門の事務処理は実時間で、宮崎県の最低賃金にて計上している。

平成24年度 特定非営利活動に係る貸借対照表 (平成25年3月31日現在)

特定非営利活動法人 子どもの森

科目	金額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	76,787		
普通預金	1,392,665		
未収金	607,119		
流動資産合計		2,076,571	
2 固定資産			
備品	2,085,000		
減価償却累計額	△1,277,608	807,392	
固定資産合計			807,392
資産合計			2,883,963
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金		200	
流動負債合計			200
負債合計			200
III 正味財産の部			
基本金	3,106,507		
当期正味財産増加額(減少額)	△222,744		
正味財産合計			2,883,763
負債及び正味財産合計			2,883,963

平成24年度 特定非営利活動に係る財産目録  
(平成25年3月31日現在)

特定非営利活動法人 子どもの森

科目	金額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	現金手元有高	76,787	
普通預金	宮崎太陽銀行門川支店	1,088,259	
普通預金	九州ろうきん延岡支店	304,406	
未収金	緑の募金、子どもゆめ基金	607,119	
流動資産合計			2,076,571
2 固定資産			
機械及び装置	チャッパ-シュレッダー(新ダ7CSE50-W)	253,050	
	チャッパ-シュレッダー(大橋GS121GB)	1,330,350	
	耕うん機(HONDAビ-ア-ンタ)	102,600	
	簡易炭窯(テサキT105型)	399,000	
減価償却累計額		△1,277,608	807,392
固定資産合計			807,392
資産合計			2,883,963
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	3月分所得税	200	
流動負債合計			200
負債合計			200
正味財産			2,883,763

※チャッパ-シュレッダー(新ダ7CSE50-W)の減価償却について

・償却前価格36,594 耐用年数:8年 ・償却方法:定率法 ・償却率:0.25 ・当該年度償却月数:12ヶ月(平成17年7月取得)

※チャッパ-シュレッダー(大橋GS121GB)の減価償却について

・償却前価格:770,918 耐用年数:8年 ・償却方法:定率法 ・償却率:0.313 ・当該年度償却月数:12ヶ月(平成22年10月取得)

※耕うん機(HONDAビ-ア-ンタ)

・償却前価格:68,400 3年均等償却(平成23年6月取得)

※簡易炭窯(テサキT105型)の減価償却について

・償却前価格:399,000 耐用年数:5年 ・償却方法:定率法 ・償却率:0.500 ・当該年度償却月数:11ヶ月(平成24年5月取得)

## 報告事項Ⅲ. 監査報告

### 監査報告書

平成24年4月1日から平成25年3月31日までの理事の職務の執行に関して、本監査報告書を作成し、以下の通り報告します。

#### 監査の結果

- この法人の会計の方法及びその結果は、相当であると認めます。
- 財産目録は、この法人の財産の状況その他の事情に照らし指摘すべき事項はありません。
- 貸借対照表は、この法人の財産の状況その他の事情に照らし指摘すべき事項はありません。
- 収支計算書は、法令及び定款に従い、この法人の状況を正しく示していると認めます。

平成25年4月〃日

特定非営利活動法人 子どもの森

監事

金子 恭子 

5



10

## 議案Ⅰ．平成25年度活動方針―(案)―

### 1. 農林漁業などの産業体験や里山等の自然体験交流事業

5 農林漁業は、食料など農海産物を生産するだけでなく、その生産活動を通じて、国土の保全、水資源の涵養（かんよう）、自然環境や美しい景観の形成、伝統文化や食文化の継承など、国民の暮らしや環境にとって欠かせない役割を果たしています。これらの役割を総称して、「多面的な役割」又は「多面的機能」と呼んでいます。

農林業の多面的な役割は、各国の自然条件や農林業生産の内容によっても異なりますが、日本の場合には中山間地域や水田の果たす役割が非常に大きいのが特徴です。

10 たとえば、中山間地域にある水田は、一般に河川の上流にあることから、大雨が降ったときに水量を調節するダム役割を果たし、下流の都市を洪水から守ります。また、棚田は美しい景観や生態系の保存にとって欠かせない役割をもっています。そして、漁業は河川や海の自然環境が悪化したら敏感に影響を受ける産業です。

15 私たちの食料を生産する生活の根本的な産業である自然環境の中で培われている農林漁業や里山等の自然体験交流を通して、自然環境の大切さを知るための啓発的な活動を行います。

#### (1) 椎茸栽培

平成23年度の「森林環境セミナー」と「春を楽しもう」で椎茸ほだ木（椎茸の菌を接種したコナラ木）が40本あります。本伏せを「森林環境セミナー」と「春を楽しもう」の参加者、20 会員や協力者へ案内をして、昨年5月に実施しています。同時に、平成22年度の「森林環境セミナー」と「春を楽しもう」での椎茸ほだ木（60本）のホダ起こしをしています。平成22年度の椎茸ほだ木は、昨年の秋に収穫がはじまりました。

今年度秋から、平成23年度に菌接種した椎茸ほだ木からの椎茸発生がはじまります。「森林環境セミナー」と「春を楽しもう」の参加者、会員や協力者へ案内をして、本伏せを5月に25 実施します。

#### (2) 川を活用した自然体験交流（川をたのしく親しもう）

ネイチャーゲームで、自然をさまざまな感覚や心を通じて理解し自然と自分が一体である、川あそびをとおして自然の豊かさを楽しみ、自然や里山等の大切さを体験を通して学びます。

30 ①「森の学舎」の前に流れている五十鈴川で魚や蝦捕りをして、川で暮らす生き物の名前を覚える。生き物の名前を覚えることで、自然環境に興味と親しみがわき、自然環境の大事さを感じることができる。

②川をたのしみ親しむために、ネイチャーゲームを川で実施する。川の自然と人間生活が密接に関係していることを学習する。

35 ※ネイチャーゲームは、宮崎県シェアリングネイチャー協会等よりネイチャーゲーム・リーダーの派遣を依頼します。

・開催月：7月

・参加数：25人（子ども15人と大人10人が目安）

40 ・場 所：森の学舎と五十鈴川

・助 成：子どもゆめ基金

### 2. 中山間地の荒廃した里山の環境保全再生事業

人や動植物にやさしい自然環境と水源かん養や災害の防止など森林の公益的機能の維持増進を図るため、杉と広葉樹の（針広）混交林（子どもの森1号地）と門川高校演習林災害後の再生（GOCANの森）、森の学舎裏山の竹林の整備（妖精の森）の森づくりを行なっています。今年度も引き続き、会員・一般参加者・門川高校生・森林ボランティア（森林サポーター）等に呼びかけ、継続した森づくり活動に取り組んでいきます。また、市町村に広報を依頼して参加者を募集すること、企業や各種団体に森林づくりへのボランティア参加をお願いして行きたい50 と思います。

中山間地の荒廃した里山の環境保全再生として、森の学舎の所在地である松瀬地区に住んでいる方たちとの森の学舎を中心とした里山再生事業を展開する準備をしていきたいと思います。イベント等を開催するのではなく、自然環境や里山景観を復元して、地区外から多くの人が訪ねてきて地区が活性化（元気になる）する先進的モデルとなるような事業を進めていきたい

5

#### (1) 子どもの森1号地

平成18年3月に400本を植樹した子どもの森1号地は、苗木も大きくなり下草刈の必要がなくなっています。今年度も現状調査を実施して行きます。

10

#### (2) GOCANの森

門川高校生と協働して実施した森林の再生活動（平成19年3月に植樹、平成25年3月に補植樹）をした門川高校実習林の下草刈を門川高校に高校生のボランティアを依頼して、6月に日程調整ができたなら実施します。下草刈終了後に森の学舎で、素麺流し等の昼食会を行ないたいと思います。

15

この事業は、高校生との森づくり支援事業（宮崎県森林環境税）の助成を申請して実施する予定です。

#### (3) 妖精の森

20

長期計画で森の学舎裏の放置されている竹林の一部を落葉樹の林に変えて行く活動の5年目となります。今年度も平成23年度から引き続き伐採した竹の一部を使って竹棚を作り、粉碎機でチップとパウダーを作ります。また、伐採した竹の活用としての竹炭も焼いていきます。竹チップ・竹パウダー・竹炭については、ふれあいの里での試販売を開始します。

25

竹林は、森の学舎裏手にあたる場所で、一般参加者や企業と各種団体に参加を呼びかけ、月に1回程度の活動日を設け、約0.05ha程度を奥行き約20m程度にある竹を伐採していきます。

この事業は、6月までは、竹林の整備として緑の募金特定公募事業（国土緑化推進機構）の助成でおこいます。7月以降は、森林づくり活動（宮崎県森林環境税）の助成を受けて実施する予定です。

30

#### (4) 中山間地の荒廃した里山の環境保全再生

地区に住んでいる方たちと一緒に、景観も含む中山間地の荒廃した里山の環境を保全するために、5年位の中期的な計画と10年先の長期的な計画を初年度である本年度に企画立案していきたいと思います。森の学舎の裏山の竹林を雑木林に変える活動（竹林の整備）や、四季をまるごと体験e c oスクールでの休耕作地の麦畑利用もその一環に位置付けることができます。他、概略としては下記のような活動が考えられると思われます。

35

① 森の学舎前に掛っていた吊りばし橋脚跡の活用として、フジ等の蔓で対岸同紙にある橋脚をつなげる。季節になれば吊り橋に花が咲くことになり季節で変化する景観をつくることができる。

40

② 北方からの森の学舎方面に左折する辺りから道から、ふれあいの里（地域の農作物直売場）までの道沿いのヤブを畑等にして里山の景観を復元する。

③ 松瀬大橋付近の孟宗竹やヤブを伐採し広葉樹の生い茂る河川敷に変え、ホタルの住まいを増やすことでホタルが多い里山に復元する。

④ 定期的な道端のゴミひろいをおこない常にゴミの無い里山景観を進める。

45

⑤ 地域の歴史的な出来事や遺跡を調べ整理して、中山間地区の歴史的価値を高める。

⑥ 休耕作地を地区外の人に利用してもらい、里山景観保全と中山間地域の流動人口を増やす。

⑦ 北方からの森の学舎方面に左折する辺りの孟宗竹林を整備して、タケノコ狩りのできる場所にする。

50

⑧ 昔の簡易石橋の景観整備

地区の方と一緒に、今年度の冬時期に吊りばし橋脚跡下に植えるためのフジ等を探し、歴史に埋没してしまった北郷黒木地区までの旧街道の歩き調査をしたいと思います。

### 5 3. 地域の自然環境などを理解してもらうための啓発活動

地球温暖化や荒れた森林、河川や海の汚染等の環境問題に関心を持ち考えてもらうために、森林・河川・里山等を活用した体験型啓発活動を開催します。広く参加者を募って、環境プログラム（体験型環境学習）に参加してもらい、『あなたのできること私のできること』をキーワードに、個人でも取り組める環境問題への活動に気付いてもらい、できるだけ良い自然環境を子どもたちに残していくことを、多くの人実践してもらうための基盤整備とすることを目的とします。

#### (1) エコ・スクール（3期四季をまるごと体験ecoスクール）

15 パン作りによる食と環境を切り口に、自然環境を遊びや観察、農業等の原体験を通して、中山間地域である里山の自然環境の大切さと保全の必要性を学習する下記のプログラムを提供します。

- ① ネイチャーゲームで、身近な植物・生き物・森林について五感を通して自然の大切さを知る。
- ② 竹でイカダを作り、竹のイカダで川を下りながら川の清掃をする。
- 20 ③ 海沖で海水を汲み、釜戸で沸かして塩を作る。
- ④ 海岸の清掃活動を通して海洋汚染について考える。
- ⑤ 昨年度に作った小麦畑から麦を収穫し、昔の道具で脱穀や脱ふんを行い、石臼で挽いて小麦粉を作る。
- 25 ⑥ ダンボール・コンポストを使って麦畑の堆肥を作る。
- ⑦ 収穫した小麦を麦種として畑に蒔く。麦畑で育った小麦は次年度のエコスクールで使用する。
- ⑧ パンの材料である天然酵母を身近な食材であるイチゴで作る。イチゴは、森の学舎近辺のイチゴ農家でイチゴ狩りをする。
- 30 ⑨ パンの材料であるバターの手作り方を近辺の乳牛農家で学び、酪農体験（生乳を搾り、牛の世話等）を体験する。
- ⑩ 石臼で挽いた小麦粉・手作り塩・天然酵母・手作りバターを使い石釜でパンを焼く。
- 35 ⑪ 森の学舎周辺の畑で旬の野菜を収穫して参加者で料理をする。また、釜戸で羽釜炊飯を体験する。
- ⑫ 昆虫観察を通して、人間が自然を壊すことなく多くの生物のいのちをみんなで見つないでいこうという想いをつける。
- ⑬ 樹木の二酸化炭素吸収量を計算して、樹木が地球環境にとって必要な存在であることを学習する。
- 40 ⑭ 外国から食物等を輸入する時に使われる過大なエネルギーを意識して、地域で採れ加工された食物を食べることが地球環境にとってやさしいことであることを学習する。
- ⑮ 文集の制作。

・講師依頼：ネイチャーゲームは、宮崎県シェアリングネイチャー協会等よりネイチャーゲーム・リーダーの派遣を依頼しています。

45 ダンボールコンポストは、宮崎ダンボールコンポスト県北支部に指導者の派遣を依頼します。

昆虫観察は、昆虫写真家の新開孝さんに依頼します。

・開催月：5月～翌年3月（計12回）

・参加数：20人（県北地域の小学生4年生から6年生と保護者）

・場所：森の学舎

50 ・助成：子どもゆめ基金

(2) 春の山菜・野草を楽しむ

森の学舎周辺の田んぼや土手で、食べることができる野草・山菜を探し収穫し料理をして春の自然を楽しみ自然の大切さを学ぶ。

5

- ・開催月：平成26年4月
- ・参加数：30人
- ・場所：森の学舎

10 4. 市民活動の活性化に関わる企画、コーディネート事業

地域の課題に対して何かの役に立ちたいと思い、地域活動に参画する意向のある人は増えてきています。そうした動きに対して行政も、地域の活性化、雇用の確保、行政サービスの補完等の観点に関心を持っています。しかし、意欲のある人や団体でも、具体的な始め方、仲間や協力者の見つけ方、必要な知識やスキルの身に付け方等、いくつかのハードルの存在が想定されます。従って、それらを克服し、参加意欲を実際の行動に結び付けていけるような支援の仕組みを地域に構築することの必要性があります。

15

(1) 第4回協働商談会事業

15 県北地区において、行政とNPO等とが話し合いや意見交換をする機会を設けることで、行政や企業とNPO等とを結び付け、新しい協働を創出する「協働商談会」の企画開催とWebページの管理運営は、昨年度の事業終了後のヒアリングで、子どもの森へは継続委託での実施せず、新規に実施団体を募集すると審査委員が判断しました。今年度の「協働商談会」に対して公募するか否かは、理事会で検討したいと思います。

20

25 (2) 第6回森づくりボランティア養成セミナー（森づくりのための森林等環境学習）

植樹から育林作業（下草刈など）の継続した活動により健全な森づくりを進めることができます。継続した森づくりの活動には、森林環境の必要性や森林分布・植物の知識も必要となります。森づくりに参加したことのない方へ、森づくり活動の必要性を訴え継続的な森づくりボランティア活動を進めるための知識と理解、その重要性への認識を深めるために、下記の2種類のセミナーを開催します。

30

①知識習得編：平成26年3月開催

- 1) 樹木（分類と学名・シュート・生活史・成長と環境）、森林（森林の種類・森林の持つ様々な働き）、森林を育てる技術（育苗・植栽・下刈り・除伐・間伐・枝打ち・主伐・搬出）等の森林生態を習得する。
  - 2) 宮崎県内で活躍している森づくりボランティア団体の紹介を通して、森林ボランティアが身近な存在であることを知る。
  - 3) 自然保護の必要性・大切さと、身近な樹木・植物観察を通して、森林に対する理解を深める。
- ※講師：1)は大学農学部教授、2)は横山謙一理事長、3)は県環境保全アドバイザー・県植物愛好会代表に依頼する。

35

40

②実作業体験編（竹林の整備）：平成26年5月開催

- 1) 森林ボランティア作業における安全衛生。
  - 2) 荒廃した放置竹林における孟宗竹の伐採。
  - 3) 伐採した孟宗竹を活用した地ごしらえ（竹棚作り）。
  - 4) 伐採した孟宗竹をチップにする。
  - 5) 上記の作業で使用する道具・機械の扱い方。
- ※講師：1)は林業安全技術指導員に依頼する。
- ※4年前から取り組んでいる放置竹林の整備の場所とノウハウを活用する。

45

50

- ・参加数：①知識習得編15人、②実作業体験編10人（フィールドが狭いため少数で実施する）
- ・場 所：①森の学舎、②妖精の森
- ・予定助成：「緑と水の森林ファンド」公募事業（国土緑化推進機構）

5

## 5. 活動の情報発信・啓発のための事業

活動を開催日前に告知することで活動の参加者を募集し、活動の内容を情報発信することで子どもの森の活動への理解を通して、自然環境の大切さ、地域を良くするための協働への参画を促していきます。

10

### (1) Webサイトの運営

子どもの森のすべての活動と自然環境啓発等を、月4～6回のWebページ更新にて情報発信していきます。

15

### (2) 機関紙の発行

子どもの森の前年度活動と自然環境啓発等を、機関紙「子どもの森通信10号」を、発行することで情報発信をする。発行時期は、5月とします。

20

### (3) 事業案内チラシの作成

各事業を開催する2ヶ月前までに、宮崎県や関係行政機関の後援を申請して、それぞれの事業や活動の案内チラシや参加者募集チラシを作成します。

## 6. その他目的を達成するために必要な事業

25

### (1) 10周年記念行事

子どもの森がNPO法人格を取得してから、今年9月で満10年になります。最初の平成15年度の収支差額 87,842 円で活動がスタートしました。その後、助成金の確保ができるようになり活動の質と量が拡大充実して、活動が確実に結果を残すことができるようになり寄付金収入も発生してきました。また、廃校となった西門川小学校松瀬分校が活動拠点として活用できるようになり、活動に必要な機械・道具や備品も揃ってきました。10周年の区切りで、今日まで子どもの森の活動を進めることができたことを記念するために、満10年となる9月に、森の学舎で記念行事を下記のような概要で開催したいと思います。これから理事会で具体的に内容を決めていきます。

30

① コンサート

35

② フリーマーケット

③ ドングリ工作などの体験

④ 子どもの森の活動で作った竹炭や竹粉や地元の野菜などの販売

⑤ 地元で活動している環境団体や個人の活動紹介コーナー

40

### 《これまでの子どもの森の収支状況》

年度	収入	支出	収支差額	繰越
15年	385,841	297,999	87,842	87,842
16年	111,508	129,660	-18,152	69,690
17年	833,456	752,621	80,835	150,525
18年	509,252	483,359	25,893	176,418
19年	687,051	719,412	-32,361	144,057
20年	2,184,482	1,807,134	377,348	521,405
21年	1,877,036	1,843,509	33,527	554,932
22年	4,253,206	3,822,970	430,236	985,168
23年	3,566,264	2,320,837	1,245,427	2,230,595
24年	2,575,002	2,729,226	-154,224	2,076,371

## (2) 活動拠点「森の学舎」の活用と整備

平成18年11月に、公募により門川町から譲与を受けた旧西門川小学校松瀬分校は、平成20年度に、日本財団と連合愛のカンパからの助成金を受け、会員その他ボランティアによって修繕を進めてきました。また、ボーイスカウト等の団体を含めた一般開放、森林や環境等の図書や児童書・絵本を整備して環境文庫の設置などの整備を行ってきました。そして、平成21年度は、セブン-イレブンみどりの基金と門川町まちづくりプレイヤー支援、連合愛のカンパからの助成を受け、五右衛門風呂小屋と釜戸小屋の製作と、薪ストーブの設置、新刊図書の購入を進めてきました。

行政が絡んでいない民間団体での廃校活用は他に例がなく、森の学舎は廃校になった学校の先駆的な活用例として注目をされています。森の学舎と周辺地域との関係も視野に入れ、環境問題を切り口とした地域コミュニティとしての役割など、廃校の更なる活用も目指していかなくてはなりません。

平成22年度で、急ぎ必要な森の学舎の整備は終わったと思われます。これからは、どのような整備が必要かを検討しながらの整備計画を進めていきます。そのための資金として、特別積立金の設定をしたいと思います。また、事業収入のひとつとして、森の学舎の開放と森の学舎で行なう環境学習の依頼があれば受入をしていきます。

## (3) NPO等委託・助成事業への公募

さらなる活動の発展とNPO法人としての財政充実と活動した人件費の確保、これまで蓄積しているノウハウの活用ができる委託・助成事業があれば、「協働商談会開催事業」以外にも理事会で協議して公募を考えたいと思います。

## (4) 活動紹介のキャンペーン

毎月11日に、イオンの黄色いレシートキャンペーンが開催されています。昨年に引き続き、ホームワイド出北店・マックスバリュース南延岡店/岡富店・ホームワイド財光寺店・イオン日向店に投函ボックスの設置をお願いしていきます。

黄色いレシートキャンペーンの日には、投函ボックスを設置している団体が、店舗内でキャンペーン活動を行うことが可能です。黄色いレシートキャンペーンが土・日曜日と重なる日に、黄色いレシートキャンペーンを利用して会員拡大と活動紹介のキャンペーンを実施したいと思います。会員拡大と活動紹介のキャンペーンに参加した会員への人件費を予算化します。

## (5) 「わたしのふる里宮崎」との協働

「わたしのふる里宮崎」(矢野宗一代表)が、営業展開しようとしている宮崎の森を箱の中で表現する「癒しの森(フギユア)」の制作を手掛けていきます。「癒しの森」のリースや販売にて得られた利益の一部を預かり、寄付先となる宮崎県で活動している森づくり団体の選定事務をおこなっていきます。

また、「わたしのふる里宮崎」は起業したばかりなので、財政的に厳しい現状ですので、子どもの森と協働して事業を展開するのに必要な資金を調達できる助成事業等を検討して資金調達を考えていきます。

## (6) 子どもの森が加盟する団体

今年も引き続き「みやざき森づくりボランティア協議会」に、団体会員として加盟します。同協議会での総会や研修会への参加をすることで、同じ森づくりや環境問題に取り組んでいる団体との交流ができます。また、同協議会が開催する研修会では、森づくり活動への考え方や森林作業の学習等を学べます。宮崎県内の森づくりを実施している団体の相互協力と交流、森づくりの研修が、本協議会の活動の中心となっています。

今年度も、協議会が開催する総会や研修、シンポジウムへの参加や協力を行っていきます。また、今年度も横山理事長は、みやざき森づくりボランティア協議会理事として就任する予定です。

みやぎき森づくりボランティア協議会加盟団体（平成25年3月現在）

団体名	事務局住所
NPO 法人みやぎ子ども文化センター	宮崎市橘通西2-5-20
木崎浜松林を守る会	宮崎市大字熊野10321
水源の森づくりをすすめる市民の会	宮崎市下北方町戸林5262-10
どんぐり1000年の森をつくる会	北諸県郡山之口町富吉2985-26
にわたこの会	日南市飢肥7-2-35
延岡アースディ実行委員	延岡市夏田町434-2 サニーハウス101
日向市ふるさとの自然を守る会	日向市大字財光寺5384-12
宮崎グリーンヘルパーの会	宮崎市祇園3丁目5番地 川島ビル202号
高千穂森の会	西臼杵郡高千穂町大字押方4520
ロキシー・ヒル	西都市大字三納10372-イ
MFV会	大分県竹田市植木954
NPO 法人子どもの森	門川町城ヶ丘2-2
環の会	串間市大字南方1639
NPO 法人ひむかり山自然塾	宮崎市大塚台西3丁目40-10
NPO 法人ひめしゃら倶楽部	高千穂町大字三田井823-40
日本熊森会宮崎支部	宮崎県延岡市塩浜町1丁目1534-62
大塚台緑地林里山整備事業委員会	宮崎市大塚台東1丁目12-2
ふる里のどんぐり森づくり会	北郷町大字郷之原乙4743-2
NPO 法人H-i-m-a-g-i-n-e	宮崎市霧島4丁目106 複合施設 ESORA 内
延岡チェーンソーアートレンジャー部隊	延岡市北方町上鹿川申739-1
さるなしの里	日向市向江町2-50
めぐみの森づくり会	椎葉村大字下福良1819

7. 助成について

今年度の活動に関して予定している助成金は下表のとおりです。

5

助成名	助成元	助成事業	助成額
森林づくり活動	宮崎県森林環境税	「妖精の森」事業（竹林の整備）	125千円（申請中）
高校生との森づくり支援事業		「GOCANの森」の下草刈り	38千円（申請予定）
緑の募金特定公募事業	国土緑化推進機構緑	「妖精の森」竹林の整備継続（昨年7月～6月）	496千円 （平成24年度に約82千円使用）
緑と水の森林ファンド		森づくりのための森林等環境学習	148千円（申請中）
子どもゆめ基金	国立青少年教育振興機構	四季をまるごと体験 eco スクール	606千円（内定）
		川をたのしく親しもう	128千円（内定）
門川町まちづくりプレイヤー支援		子どもの森10周年記念行事	195千円（申請予定）
委託	宮崎県	協働商談会	未定
その他		「癒しの森」に関する助成もしくは委託	未定

議案Ⅱ. 平成25年度活動計画書(案)

平成25年度 特定非営利活動に係る活動計画書  
(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)

科目	金額		備考
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	72,000		正会員:14人×5,000、特別会員:2人×1,000
賛助会員受取会費	50,000	122,000	10人×5,000
2. 受取寄付金			
受取寄付金		189,000	イオン黄色いレシート、ろうきんNPO寄附金、個人寄付 他
3. 受取助成金等			
受取助成金		1,620,000	子どもゆめ基金:734千、緑の募金:528千、まちづくりプレイヤー:195千、森林づくり活動:104千 他
4. 事業収益			
自主事業収益	356,900		参加費、森の学舎使用料
委託事業収益	0	356,900	
5. その他収益			
雑収入		250	
経常収益計			2,288,150
II 経常費用			
1. 事業費			
(1)人件費			
給料手当	215,700		ecoスクール、川をたのしく親しまう
臨時雇賃金	0		同上
人件費計	215,700		
(2)その他経費			
修繕費	80,000		チェーンソー点検修理、鉦・鎌の砥ぎ
諸謝金	530,000		ecoスクール、川をたのしく親しまう、森林環境セミナー、竹林の整備、ecoフェスタ
印刷製本費	400,100		ecoスクール散紙印刷(業者)、他事業はトナー代
広告宣伝費	10,500		森林環境セミナー
Webページ運営費	37,000		竹林の整備
旅費交通費	127,750		ecoスクール、川をたのしく親しまう、森林環境セミナー、竹林の整備、ecoフェスタ 他
通信運搬費	61,900		同上
消耗品費	505,100		同上
会議費	0		
損害保険料	60,760		竹林の整備、川をたのしく親しまう、ecoスクール
その他経費計	1,813,110		
事業費計		2,028,810	
2. 管理費			
(1)人件費			
給料手当	6,000		黄色いレシート・キャンペーン
臨時雇賃金	0		
人件費計	6,000		
(2)その他経費			
修繕費	77,090		プリンタ保守、プリンタ修理
印刷製本費	0		
Webページ運営費	9,600		レンタルサーバー(H25.4~H28.3)
旅費交通費	14,330		物品購入、黄色いレシートキャンペーン、各種会議
通信運搬費	34,723		助成金申請・報告、事務局電話料、森の学舎携帯
消耗品費	9,438		文房具 他
諸会費	3,000		みやざき森づくりボランティア協議会
会議費	10,000		総会、理事会、10周年記念
研修費	10,000		みやざき森づくりボランティア協議会
損害保険料	0		
租税公課	1,000		印紙
施設管理費	185,000		森の学舎(土地賃借料、浄化槽管理費、電気代)
雑費	6,695		椎茸発送費 他
減価償却費	314,919		チャージャーシュレッダー2台、耕うん機、簡易炭窯
その他経費計	675,795		
管理費計		681,795	
経常費用計			2,710,605
当期正味財産増減額			-422,455
前期繰越正味財産額			2,883,763
次期繰越正味財産額			2,461,308
			森の学舎修繕費目的積立¥1,000,000含む

※会費 正会員：5,000円(ただし、特別会員は、1,000円。) 賛助会員：5,000円  
 特別会員とは、社会に出る前の大学生や専門学校生と同一世帯で2人め以降の正会員で、総会での議決権など、通常の正会員と同じ権利を有します。

5 ※目的積立：将来の大規模な森の学舎修繕に備えた積立をおこないます。現在、雨漏りがあるためシートで応急処置をしていますが、修繕費が認められる助成金にて雨漏り修繕をしたいと考えています。その時に、目的積立を取り崩して自己資金部分に充当させます。



10

議案Ⅲ. 役員改選(案)

役職	氏名	就任期間	報酬について
理事	横山 謙一	平成25年4月1日～平成27年3月31日	報酬無
	田中 公宜		
	麻田 百合子		
	工藤 恵理香		
	横山 純子		
監事	黒木 伸光		

平成25年度活動日程（予定）

H25年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
4月	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	祝	火	水	
											監査																	学舎整備	竹林整備	学舎整備		
5月	水	木	祝	祝	日	振	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	
	学舎整備→5					総会												ecoスクール							ecoスクール							
6月	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	
	eco準備									GOCANの森																					ecoスクール	
7月	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	祝	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	
										竹林整備																						
8月	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	
												eco準備																				
9月	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	祝	火	水	木	金	土	日	祝	火	水	木	金	土	日	月		
10月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	祝	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	
11月	金	土	祝	振	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	祝	日	月	火	水	木	金	土	日	
12月	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	祝	火	水	木	金	土	日	祝	火	水	木	金	土	日	月	火	
H26年	祝	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	祝	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	
1月																																
2月	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	祝	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金				
3月	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	祝	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	
	ecoスクール→2																															
4月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	祝	水		

竹林整備（妖精の森）：竹伐採・竹チップづくり・竹粉づくり・竹棚づくり、竹炭焼き  
 GOCANの森：高校生との下草刈  
 ホダお越し：H23年度森林環境セミナー・春を楽しもうでの椎茸ほだ木の収穫用作業  
 ecoスクール（3期四季をまるごと体験ecoスクール）、eco準備：子どもとその保護者への環境教室（同じ参加者による）  
 川をたのしく（川をたのしく親しもう）、川を準備：川を活用しての自然体験交流  
 森林環境セミナー：森づくりボランティアの養成（森林生態学、植物観察）

春をたのしもう：山菜料理  
 協働創出市：協働商談会の開催  
 学舎整備、学舎草刈り：（森の学舎）施設整備、ほだ木起こし、草刈り  
 PR活動：黄色いレシートキャンペーンでのPR参加  
 森づくり総会：みやざき森づくりボランティア協議会総会

その他・関連して

定期的な理事会の開催、子どもの森HP運営、子どもの森通信の発行（5月末）、ecoスクールの参加者募集で小学校訪問、協働商談会の参加団体募集とHP運営  
 各活動の案内文書作成と参加者募集、カブトムシ飼育、椎茸収穫、土日の環境文庫オープン、10周年行事実行委員





事務局：宮崎県東臼杵郡門川町城ヶ丘 2-2

TEL/FAX 0982-95-7800

<http://www.kodomonori.info>

office09@kodomonori.info

facebook <https://www.facebook.com/npo.kodomonori>

携帯サイト <http://kodomonori.info/m>

協働創出市サイト <http://kyoudou.info>

森の学舎：宮崎県東臼杵郡門川町大字川内字イカダ場 3412 番地 1

TEL 080-2696-5180